

現代に適したアイデンティティ、アクセス、 ガバナンス管理

クラウドやモバイルなどの技術動向は、IT 部門が企業にサービスを提供する方法を変えています。一方でこれらの新技術は、アイデンティティやアクセスを管理する IT 部門の業務をどんどん複雑化し、さらには社員の生産性に影響を及ぼす新たな課題の原因にもなっています。故に、アイデンティティを管理するための自動化された方法が導入されていない企業の IT 部門はハイブリッド環境において複雑なアクセスルールの管理に大苦戦しています。



アクセス管理と生産性の絶妙なバランス

セキュリティのリスクが高まっていることに加え、企業にはデータ保護に関連する政府の規制や社内のガバナンスポリシーを遵守することが余儀なくされている昨今、IT部門にとってアイデンティティとアクセスの管理を何よりも最優先することが従来にも増して重要になっています。特権的アクセス権の管理から、アイデンティティに基づく社員のオンボーディングとオフボーディングの管理まで、あらゆる管理業務を自動化することで、IT部門はかつてないほどの柔軟性を社員に提供しつつ、コンプライアンスやガバナンスの要件を満たす責任をバランス良く果たすことができます。

Ivanti Identity Director (RES搭載) は、自動化されたプロビジョニング、ワークフロー、セルフサービスにより、アイデンティティとアクセスに対する属性ベースのアプローチを提供します。Ivantiを導入すれば、ユーザーはアイデンティティに基づく適切なレベルのアクセス権を取得できるため、企業の安全を守りつつ、ユーザーの生産性を維持できます。

アイデンティティウェアハウスによって既存のシステムが集約されるため、IT部門は、要求された場合に予測どおりのサービスを社員に自動提供でき、社員はワークフローが自動化されたセルフサービスを利用できます。Ivantiは、部門の効率とサービス品質を向上し、社員のオンボーディングとオフボーディングを合理化し、ガバナンスとコンプライアンス基準を満たすために必要な情報をIT部門に提供します。

主な特徴：

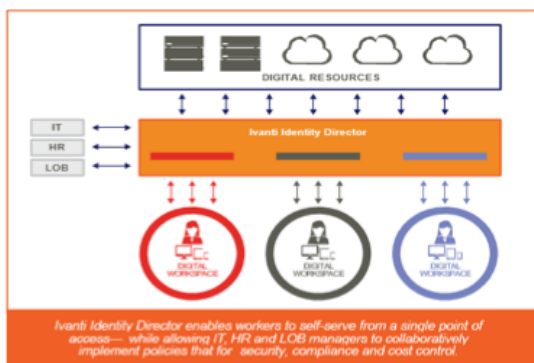
アクセス管理 – 社員の生産性と安全を維持するため、アイデンティティの属性と状況に応じたポリシーに基づいてアクセス権を管理します

自動化されたサービスの提供&返却 – 要求された場合にポリシーとワークフローに基づいて予測どおりのサービスを提供するプロセスを自動化します

セルフサービス – セルフサービスポータルやモバイルアプリ経由でリクエストされた場合に、サービスを社員に提供します

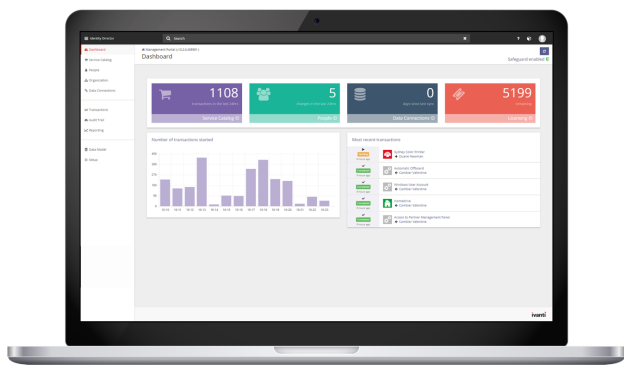
柔軟な管理 – 複雑なハイブリッド環境の管理をシンプルにします

ガバナンス – 情報、可視化、分析を通してリスクを軽減し、コンプライアンスを保証します



数多くの用途で活用できる単一のソリューション

ユーザーのアイデンティティは、企業のIT部門の様々な側面で重要な役割を担います。アイデンティティとアクセスの管理に関連するタスクとワークフローの自動化は多くのメリットをもたらします。Ivanti Identity Director（RES搭載）は、社員の生産性を向上し、セキュリティとコンプライアンスのリスクを軽減し、効率的にサポートとサービスを社員に提供するIT部門の作業や対応を改善できます。企業が技術を活用する一般的な方法：



属性ベースのアイデンティティ管理：既存のデータソースを集約する単一のアイデンティティストアを提供し、アイデンティティの属性に基づいてサービスとアプリへの適切なアクセス権を提供する機能をIT部門に提供します。アイデンティティサイクル全体を通して属性の特権に基づいてアクセスを適応させます。

セキュリティに関連するリスクの軽減：社員に自分のやり方で仕事を進める自由を提供しつつ、安全性を維持することで、社員のポテンシャルを引き出し能力開発を推進します。プロビジョニングとデプロビジョニング（プロビジョニング解除）プロセスを自動化することにより、サービス提供が円滑化されることで、人的エラーが排除され、セキュリティポリシーが施行され、結果的に社員がシャドーIT（個人用のデバイスを許可なく使用すること）を検討する必要がなくなります。

監査可能な法令遵守：GDPR、HIPAA、PCIなどデータ保護に関する法規制の遵守の実証をサポートします。サンプリングプロセス中に監査証跡（オーディットトレイル）とレポートへのアクセスを容易にすることで、監査報告書の作成を単純化し、ガバナンス要件を満たすために手動で行う各種認証タスクを軽減します。

ユーザー向けのセルフサービス：自動化されたワークフロー経由で事業プロセスとポリシーを推進するため、IT部門にインテリジェントなプロビジョニング機能を提供します。アクセスやその他の一般的なITサービスをリクエストするためにセルフサービスとモバイルアプリを社員に提供します。これにより、ポリシーを施行するためにIT部門と社員間で所有権が共有され、ワークフローのリクエストと承認が可視化されます。

ハイブリッドインフラストラクチャの自動化：IT部門は、アプリがホストされている場所を問わず、アクセス権限を統合、管理、施行できます。ハイブリッド環境において一元管理下で解決された問題を可視化できるため、インフラストラクチャやプロセスの変更を単純化する自動化によって将来に向けた万全の体制も整えることができます。

企業と社員両方のITサービスへの依存度が高まっているため、アイデンティティとアクセスの管理や、ユーザーへのサービス提供に従来のアプローチを使用しても期待通りの結果を得ることはもはやできなくなっています。Ivanti Identity Director（RES搭載）を実装することで企業は厳しさを増す要件に簡単かつ効率的に首尾よく対応できるようになります。



www.ivanti.co.jp



03-5226-5960



Contact-Japan@ivanti.com

Copyright © 2017, Ivanti. All rights reserved. IVI-2039 10/17 LC/LB/BR/DH